



# 上下水道局

総 額 88,876百万円

(対前年度 1.7%)

収益的収入 50,134 百万円

収益的支出 49,045 百万円

差引 1,089 百万円

単年度資金収支 ▲2,032 百万円

## 【令和4年度 経営方針】

上下水道局では、令和3年3月に策定した「上下水道事業基本計画 2030（計画期間：令和3～12年度）」及び「上下水道事業中期経営計画 2025（計画期間：令和3～7年度）」に基づき、着実に事業を推進するとともに、経費節減や増収対策など、経営基盤の強化に努め、「お客さまに信頼される上下水道」を目指します。

具体的には、上下水道施設の長寿命化や改築・更新、災害対策などに取り組みとともに、本市の持つ高い上下水道技術を国内外で活用し、上下水道事業の発展的広域化や国際貢献の推進に取り組みます。

(単位：百万円)

	予 算 額		収益的収支			単年度 資金収支
		前年度比	収入	支出	差引	
水道事業	34,130	3.1%	19,996	19,666	330	▲1,398
水道用水供給事業	1,067	2.3%	904	821	83	73
上水道事業	35,197	3.0%	20,900	20,487	413	▲1,325
工業用水道事業	2,877	▲0.7%	2,000	1,722	278	▲99
下水道事業	50,802	0.9%	27,234	26,836	398	▲608

## 【令和4年度予算の基本的な考え方】

### ●上下水道施設の強靱化

予算額 19,273百万円 (対前年度 +11.6%)

長期的な観点から施設規模や機能の最適化を図りながら、更新時期を迎える上下水道施設の長寿命化、改築・更新に取り組みとともに、豪雨や地震といった災害に強い上下水道施設の整備などを進め、市民の生活を守ります。

- ・上下水道施設の長寿命化と改築・更新
- ・豪雨対策の拡充・強化
- ・震災対策の拡充・強化
- ・危機管理体制の充実・強化
- ・水管橋の維持管理

### ●環境負荷の低減

予算額 1,652百万円 (対前年度 ▲13.9%)

水環境の向上や、資源の有効活用などによる環境負荷低減を推進します。

- ・合流式下水道の改善推進
- ・水質監視強化
- ・省エネルギーの推進

### ●国内外への貢献

予算額 1,372百万円 (対前年度 +6.2%)

北九州都市圏域の中核都市として、上下水道事業の発展的広域化や、SDGsの達成に寄与する国際貢献の取り組みを通じて、本市職員の技術力・実務能力の向上を図ります。

- ・多様な広域連携の推進
- ・外郭団体等との連携強化
- ・海外事業の展開

### ●DXの推進

予算額 54百万円

- ・スマートメーターの実証実験
- ・AIを活用した水道管劣化診断の導入調査
- ・口座振替インターネット手続きの導入 など

## 令和4年度 上下水道局予算 主要事業一覧

### (1) 上下水道施設の強靱化

長期的な観点から施設規模や機能の最適化を図りながら、更新時期を迎える上下水道施設の長寿命化、改築・更新に取り組むとともに、豪雨や地震といった災害に強い上下水道施設の整備などを進め、市民の生活を守ります。

#### ■上下水道施設の長寿命化と改築・更新 14,823,909千円

※令和3年度2月補正予算(132,500千円)と合わせ、14,956,409千円の事業費を計上

上下水道事業を持続していくため、長期的な視点に立って効率的・計画的な上下水道施設の改築更新を進めます。

#### 【アセットマネジメント手法を活用した効率的・効果的な更新】

- ・配水管等の更新 6,297,056千円  
配水管更新(L=38.5km)、導送水管更新(L=1.7km)
- ・浄水施設の更新 1,674,413千円  
堀越ポンプ場特高受変電設備更新電気計装工事 など
- ・工業用水道施設の改築更新 764,616千円  
小竹配水池～三井鉾山配水管布設替工事 など
- ・下水道施設の改築更新 4,095,200千円  
日明浄化センター中央監視装置改良 など

#### 【上下水道施設の規模の最適化】

- ・配水ブロックの改善 50,400千円  
尾倉、黒川配水池の統廃合
- ・下水道施設の再編 1,489,500千円  
中川通ポンプ場の移転改築  
皇后崎・北湊処理区の再編、皇后崎浄化センターの再構築 など

#### ■豪雨対策の拡充・強化 2,850,000千円

近年、局地化、集中化する豪雨から市民の生活を守るため、効果的に施設整備を進めていきます。

- ・浸水被害の最小化 2,850,000千円  
昭和町雨水貯留管、曾根新田14号雨水幹線管渠築造 など

## ■震災対策の拡充・強化

7,761,869千円

※令和3年度2月補正予算(705,000千円)と合わせ、8,466,869千円の事業費を計上

大規模な地震が発生した場合においても、水道の安全で安定した給水、下水道の最低限の水処理機能を維持するため、防災・減災の観点から、施設の耐震化やバックアップ機能の強化などを図っていきます。

- ・浄水場・配水池の耐震化 95,264千円  
畑・椎木配水池の長寿命化工事 など
- ・水道管路の耐震化《再掲》 6,297,056千円  
配水管等の更新
- ・浄化センター、ポンプ場の耐震化 250,000千円  
門司港ポンプ場耐震補強工事 など
- ・下水道管渠の耐震化 1,070,000千円  
日明遮集幹線、東二島北湊主要幹線管渠更生 など
- ・バックアップ機能の強化 49,549千円  
八重洲～城野分岐送水管整備 など

## ■危機管理体制の充実・強化

42,000千円

気候変動の影響による自然災害の増加などさまざまな災害リスクに備え、緊急時においても、安定給水、安定処理ができる体制を確保していきます。

- ・災害時における機能確保の推進 42,000千円  
応急給水施設整備工事、マンホールトイレの整備

## ■水管橋の維持管理

62,520千円

- ・ドローンを活用した水管橋の点検強化
- ・水管橋外面更生 など

## (2) 環境負荷の低減

水環境の向上や、資源の有効活用などによる環境負荷低減を推進します。

### ■合流式下水道の改善推進 1,600,000千円

下水道法施行令で定められた期限（令和5年度末）までに放流先の汚濁負荷を分流式下水道並みに軽減し、良好な水環境をつくります。

- ・西本町地内、中原東地内
- ・日明浄化センター合流改善施設、皇后崎浄化センター高速ろ過設備 など

### ■水質監視強化 28,781千円

下水道施設の保全や浄化センターの安定的な運転を目的として、下水処理に影響を及ぼす物質の監視強化を図ります。

### ■省エネルギーの推進 19,800千円

電気使用量及び二酸化炭素排出量の削減を図るため、ポンプ設備の適正化などにより省エネルギー対策を実施します。

- ・穴生浄水場東西系送水ポンプ更新工事 など

## (3) 国内外への貢献

北九州都市圏域の中核都市として、上下水道事業の発展的広域化や、SDGsの達成に寄与する国際貢献の取り組みを通じて、本市職員の技術力・実務能力の向上を図ります。

### ■多様な広域連携の推進 13,636千円

近隣自治体との連携を強化し、発展的広域化の具体化に取り組みます。

- ・水道事業の広域連携に係る工法検討業務委託（京築地区） など

### ■外郭団体等との連携強化 1,171,510千円

外郭団体（（株）北九州ウォーターサービス）との連携を強化するとともに民間事業者の活用を図り、発展的広域化を推進します。

- ・宗像地区水道施設維持管理等業務委託

### ■海外事業の展開 187,057千円

SDGsの目標6「安全な水とトイレを世界中に」の達成へ寄与するため、上下水道の国際技術協力に取り組みます。

さらに、協力関係で培った信頼や人的関係を基に、「北九州市海外水ビジネス推進協議会」との官民連携により、本市経済の活性化に繋げるため、海外水ビジネスを推進していきます。

## (4) DXの推進

- スマートメーターの実証実験** 20,000千円  
自動検針やリアルタイムで入手できる水量データの活用方法について、  
検証・検討を行うため、藍島・馬島（約120戸）で水道スマートメーターの実証実験を行います。
  
- AIを活用した水道管劣化診断の導入調査** 20,000千円  
AIにより、これまで活用ができていなかった1,000以上の周辺環境  
情報等の変数を用いた水道管路の劣化診断を行い、その有効性を調査しま  
す。
  
- 口座振替インターネット手続きの導入** 4,400千円  
口座振替の申込み手続きについて、お客さまがインターネットで申込み  
手続きができるようにし、手続きの簡便化・迅速化を図ります。
  
- 給水装置工事及び排水設備工事申請の電子化** 10,000千円  
給水装置工事及び排水設備工事申請について、申請者がインターネットで  
申込み手続きができるようにし、事務の簡便化・迅速化を図ります。